

Q8 測定結果はどう読みますか

まず建設住宅性能評価書の表示項目を確認してください。

住宅性能表示制度で濃度測定を選択した場合、測定結果はその他の性能評価結果と同時に建設住宅性能評価書として報告されます。

表示項目には測定物質の名称、その濃度、測定器具の名称、採取年月日、採取時刻、内装仕上げ工事完了年月日、採取条件（対象居室の名称、採取中の室温、湿度、天候、日照状況、換気状況、冷暖房の実施状況等）、分析者の氏名又は名称が表示されます。

濃度はppm、ppb、mg/m³、μg/m³などで表示されます。

ppm(part per million)、ppb(part per billion)は体積比で、それぞれ百万分の一、十億分の一の濃度を表します。mg/m³、μg/m³は重量比で室内空気1m³中に何グラムの化学物質が存在するかを表します。

ppmは温度によって変化しますが、厚生労働省のホルムアルデヒドの指針値で100μg/m³は1気圧25℃で換算すると約0.08ppmとなります。

濃度はあくまでも測定時の条件における値です。

測定結果を読む場合注意しなければならないのは、この濃度はあくまで建設住宅性能評価書に記載された測定日の室温や湿度、天候などの採取条件における値であるということです。室温や天候は変わるものですし、夏冬の季節の違い、通風・換気の状態などによっても濃度は変化しますので、測定時の濃度が常に維持されるわけではありません。

測定結果については住宅会社や設計・施工業者と相談の上、必要に応じて対策を打ちましょう。



建設住宅性能評価書の記入例（「室内空気中の化学物質の濃度等」の項目のみ抜粋）

項 目		結 果	
6.空気環境に関する事	6-3 室内空気中の化学物質の濃度等	評価対象住戸の空気中の化学物質の濃度及び測定方法	
	特定測定物質の名称 〔ホルムアルデヒド〕	特定測定物質の濃度：〔0.07ppm〕 測定器具の名称：〔採取器具：DNPH被集管A社〇〇、分析器具：溶媒抽出ー高速液体クロマトグラフB社〇〇〕 採取を行った年月日：〔平成〇〇年8月10日〕 採取を行った時刻等：〔14:00～14:30〕 内装仕上げ工事の完了日：〔平成〇〇年8月5日〕 採取条件（居室の名称）：〔子供室2（2階、南西）〕 （室温（平均の室温））：〔26.0℃〕 （相対湿度（平均の相対））：〔65.0%〕 （天候）：〔快晴〕 （日照の状況）：〔10日昼間には西向窓より日射あり〕 （換気の実施状況）：〔10日9:00～採取中まで運転（弱）〕 （その他）：〔10日14:00～14:30強風あり（西向：風速約〇〇m）〕 分析した者の氏名又は名称：〔株〇〇社 分析一郎〕	